

ドイツ ケーファ社

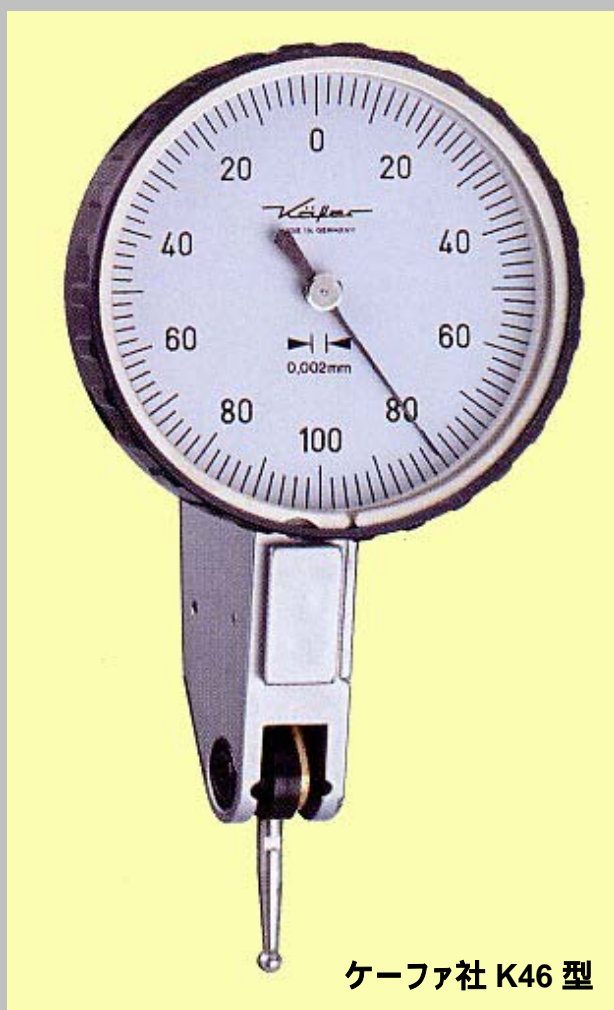
高精度 2 μ m 読み

テコ式ダイヤルゲージ

(テストインジケータ)



Precision Käfer Dial Test Indicator



ケーファ社 K46 型

輸入元

株式会社 テクノ・プレジジョン

取扱店

アキ・アルテック株式会社

〒350-0817 埼玉県川越市上戸新町 21-4

TEL:049-232-0457 FAX:049-232-2475

<http://www.aki-alltech.kk>

E-mail:info@aki-alltech.co.jp



ドイツ ケーファ社 2 μ m 読みテストインジケータ

ケーファ社は南ドイツ、かつこう時計(クックウーア)で有名な黒い森(シュバルツヴァルト)のはずれヴィリンゲン・シュベニンゲン市に本社工場を構えた会社で、社名通りのダイヤルゲージ、ダイヤルコンパレータ、テストインジケータ及びそれらを使った板やフィルムなどの厚み測定器のみを製造する会社です。ダイヤルゲージやテストインジケータ類の年間総生産量は 100 万個近くになることもあります。

2 μ m 読みのテストインジケータ(てこ式ダイヤルゲージ)は世界でも Mahr、TESA、Starrett、Mitutoyo 社など数社でしか製造していません。しかしいずれも 1~2 μ m の読みが全製品 100% 現場で完全に保証できるのは非常に至難な技で動きが鈍く、ある割合でクレームが起きているのが現状です。弊社はケーファ社と提携し、この **1~2 μ m が完全に読めるテストインジケータ**のみを厳重に検査のうえ日本へ輸入しております。

通常テストインジケータは測定スタンドなどに取り付け、近接困難な測定面の高さの比較に用いられますが、最も良く使用されるケースは、測定物の平面度、平行度さらに同心度の測定です。このため特に上述したように 1~2 μ m の非常に小さい振れが完全に読めることが要求されるのです。

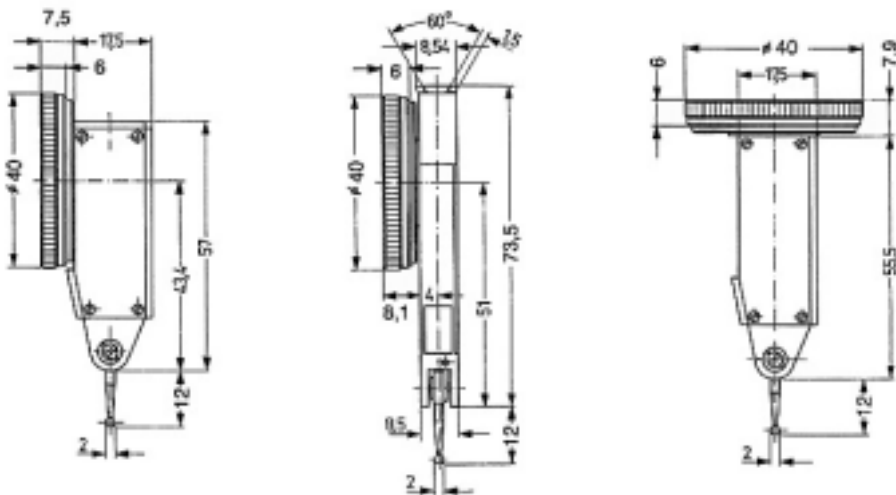
指示精度の許容差は JIS (ISO) 規格及び DIN (ドイツ) 規格で測定方法の違いから一部異なります*。実際に校正する場合もあり板を使ったインジケータホルダでは安定性が不十分で、若干測定の際のばらつきが出ます。

* JIS の広範囲行き精度は DIN では fe で 3 μ m、戻り誤差は fu で 2 μ m、隣接誤差は ft で同じく 2 μ m です。繰り返し精度については JIS は 1 μ m、DIN では fw で 1.5 μ m です。広範囲行き戻り誤差は DIN のみの fges で 4 μ m です。

日本にて発売する種類と形状

測定方向は自動切換タイプで、1 目盛は 0.002mm 読みで、測定範囲 0.2mm です。形状は縦型、横型さらに垂直型もあります。縦型は常に在庫をしています。ぜひ一度お試しください。

どのテストインジケータもケースを含めすべて生材から自社加工しており、しかもハードクロームメッキ処理を行ない、あらゆる板部分に対磨耗性をつけています。



ケーファ社 K47 型



型式名

ケーファ K46 型
JIS 縦型 (T)
DIN A 型

ケーファ K47 型
JIS 横型 (Y)
DIN B 型

ケーファ K48 型
JIS 垂直型 (S)
DIN C 型

仕様

型式名	1 目盛 (mm)	測定範囲 (mm)	目盛板	リング外径 (mm)	測定子の長さ
K46	0.002	0.2	0-100-0	40	12 mm
K47	0.002	0.2	0-100-0	40	12 mm
K48	0.002	0.2	0-100-0	40	12 mm

標準付属品

ステム直径 8mm のインジケータホルダ及び測定子交換用レンチ



ホルダは Mahr、TESA 社他どれとも互換性があります。



測定子交換用
(自分で交換可能)

オプション(測定子 12mm 長さ)



超硬ボール 0.4mm
超硬ボール 1mm
超硬ボール 2mm (標準付属品)
超硬ボール 3mm
ルビーボール 2mm